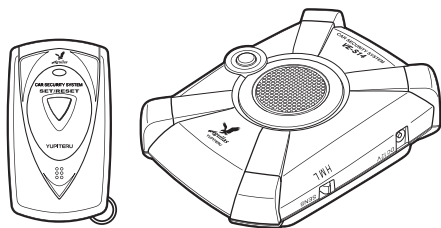


# 保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。  
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

|        |     |                                                             |  |       |                              |
|--------|-----|-------------------------------------------------------------|--|-------|------------------------------|
| 品番     |     | VE-S14                                                      |  | S/No. |                              |
| お買い上げ日 |     | 年 月 日                                                       |  | 保証期間  | お買い上げの日から1年間<br>(電池等消耗部品を除く) |
| お客様    | お名前 | 無効                                                          |  |       |                              |
|        | ご住所 |                                                             |  |       |                              |
| 販売店    | 店名  | 上に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。 |  |       |                              |

## 取扱説明書 / 保証書



### 目次

#### はじめに

|               |   |
|---------------|---|
| 安全上のご注意.....  | 2 |
| ご使用にあたって..... | 4 |
| 各部の名称と働き..... | 5 |

#### 取り付けかた

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 専用ニッケル水素電池の取り付け/取り外し方法... | 6 |
| サンバイザーに取り付ける .....        | 7 |

#### 使いかた

|                          |    |
|--------------------------|----|
| センサーユニットを充電する .....      | 8  |
| リモコンの電源をONにする.....       | 8  |
| 本機の機能を設定する .....         | 9  |
| 威嚇パターンを変更する .....        | 10 |
| 警戒状態にする.....             | 12 |
| 警戒中に異常を検知すると(警告・警報)..... | 13 |
| 警戒を解除する(警報停止) .....      | 14 |
| ローバッテリー通知について .....      | 14 |
| リモコンの電池交換.....           | 15 |

#### その他

|                    |     |
|--------------------|-----|
| こんなときは? .....      | 16  |
| 仕様.....            | 17  |
| アフターサービスについて ..... | 18  |
| 保証書 .....          | 裏表紙 |

### 国産12V車専用

このたびは、ユピテルのCAR SECURITY SYSTEM をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると、光とサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上あらしや盗難を未然に防止する簡易型防犯装置です。

### △ 注意

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

- リモコンの電源をONにしてからご使用ください。

➡ 8ページ「リモコンの電源をONにする」

# 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。  
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」、「警告」、「注意」の3つに分けています。

**△危険：** 注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

**△警告：** 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

**△注意：** 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

## 絵表示について

  記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

  記号は禁止の行為であることを告げるものです。

  記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

## ●本機について

### △警告

 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、警戒状態にしない…警告・警報機能が働いた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

 水をつけたり、水をかけない。また、濡れた手でシガープラグコードの抜き差しや操作をしない…火災や感電、故障の原因となります。

 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に確実に取り付けは…誤った取り付けや、不確実な取り付けはケガや交通事故の原因となります。

 万一、センサーユニットを破損した場合は、すぐにシガープラグコードを抜き、専用ニッケル水素電池を取り外す…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

 バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

 シガープラグコードは確実に差し込む…シガープラグコードが確実に差し込まれていなかったり、異物が付着して接触不良を起こしていると、火災の原因になったり、正しく動作しないことがあります。

 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグコードを抜き、専用ニッケル水素電池を取り外して、販売店に修理をご依頼ください。

 12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

 エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください…万有的时候動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、電源コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

## ●ニッケル水素電池について

## ⚠ 危険



分解、改造、はんだ付けしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



ニッケル水素電池の端子部を針金などの金属で接続しない。また、他の金属と一緒に保管したり、持ち運びしない…ニッケル水素電池がショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



火の中に投入したり、過熱したりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



万一、ニッケル水素電池が液漏れて液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

## ⚠ 警告



ニッケル水素電池を濡らさない。また、濡れたニッケル水素電池を充電したり、使用しない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



濡れた手でニッケル水素電池をさわらない…感電の原因となることがあります。



ニッケル水素電池が液漏れしたり、変色・変形、その他今までと異なることに気付いたときは、使用しない…発熱、発煙、破裂、発火の原因になる恐れがあります。

## ⚠ 注意



ニッケル水素電池を充電するときは、取扱説明書をよくお読みください。



指定(専用ニッケル水素電池)以外の電池を使用しないでください。



火のそば、ストーブのそばなどに放置しない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



ニッケル水素電池の被覆をはがさない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。



乳幼児の手の届かないところに保管する。また、使用中も、乳幼児が機器本体から取り出さないようご注意ください。

# ご使用にあたって

## 使用上のご注意

ご使用前にセンサーユニットに付属の専用ニッケル水素電池を装着し、2時間以上充電してください。(➡8ページ「センサーユニットを充電する」)

※警戒状態を長期間保つために、走行中に充電(付属のシガープラグコードを接続)することをお勧めします。

■ 使用するときは、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)

■ 音圧センサー搭載のセキュリティシステム装着車とは併用できない場合があります。警戒や解除操作でセキュリティシステムが警報を発することがあります。

■ リモコンでの警戒/解除操作は赤外線式のため、ビラーやボディカバーなどの遮蔽物があると操作できません。

■ 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときにはウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所など、振動や騒音が発生している場所では、警報が発生する場合があります。

## 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- シガープラグコード(1)
- 専用ニッケル水素電池(1)
- ボタン電池 CR2032(2)  
※ボタン電池はリモコンに装着してあります。
- サンバイザークリップ(1)
- 取扱説明書/保証書(本書)

## 別売品のお知らせ

電源用直結コード  
OP-20



付属のシガープラグコードを使わずに、アクセサリ系端子(ヒューズボックス)から直接電源をとる場合に使用します。(OP-20の他に市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードが必要です)

本機は、センサーにより異常を検知し、警告・警報を発する簡易型防犯装置で、盗難を完全に防止できるものではありません。

また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## △注意



窃盗犯は複数であったり、バールやハンマー等を携帯している場合があります。  
警告や警報で車輛を確認する際は、慎重に対応してください。

# 各部の名称と働き

## センサーユニット

### MODE(モード)スイッチ

警戒モードの変更や威嚇/パターンの変更ができます。

### 赤外線受光部

### サイレン

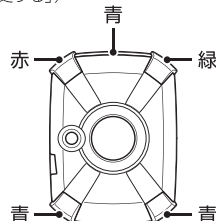
作動音/警告・警報音を出力します。  
90dB/m

### 感度設定スイッチ

衝撃感度をH・M・Lの3段階から選択できます。  
※ 強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)

### スキャンニングLED

10のパターンから変更可能  
(▶10ページ「威嚇/パターンを変更する」)



### DC12Vジャック

付属のシガープラグコードを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、専用ニッケル水素電池への充電を行います。

### 音圧センサー(内蔵)

ドアを開けたときやウィンドウ、ボディが強打されたとき、車内の空気の振動と衝撃音を検知します。

## リモコン

※ リモコンへのアンサーバック機能はありません。

### 赤外線送信部

### インジケータランプ

リモコン操作時に点灯/点滅します。

### 操作ボタン

警戒/解除の操作や、リモコンの電源をONにすることができます。

※ 警戒・解除操作はセンサーユニットから約2m以内で操作できます。(赤外線式)

### ボタン電池 (CR2032)

電池が消耗すると、インジケータランプが点滅します。  
(▶15ページ「リモコンの電池交換」)

## シガープラグコード

### DCプラグ

電源コード  
(約3m)

### プラス端子

### 先端キャップ

### ヒューズ(内蔵)

先端キャップを外す(反時計方向に回す)とヒューズを交換できます。  
(1A)

## ⚠ 注意



シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずプラグ部を持って抜いてください。

# 専用ニッケル水素電池の取り付け/取り外し方法

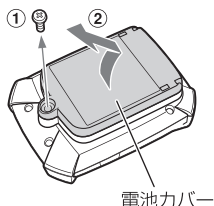
本機をご使用になる前に、専用ニッケル水素電池をセンサーユニットに装着してください。また、2時間以上充電をしてもすぐにローバッテリーになる場合や充電ができなくなった場合は、センサーユニットの専用ニッケル水素電池を新しいものと交換してください。

## 取り付け方法

### 1. ① 電池カバー取り付けネジを外す

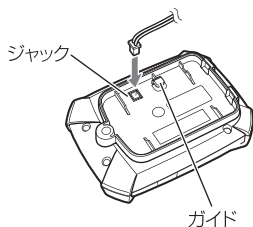
#### ② 電池カバーを外す

電池カバーを取り外すときは、ツメに注意して外します。

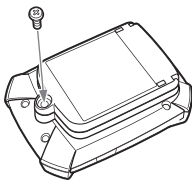


### 2. 電池カバー内のジャックに専用ニッケル水素電池のコネクタを差し込み、収納する

ケーブルをガイドに収めて収納します。



### 3. 電池カバーを取り付け、ネジを締める

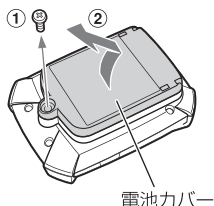


## 取り外し方法

### 1. ① 電池カバー取り付けネジを外す

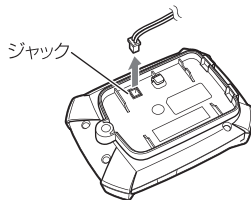
#### ② 電池カバーを外す

電池カバーを取り外すときは、ツメに注意して外します。



### 2. 電池カバー内のジャックから、専用ニッケル水素電池のコネクタを取り外す

取り外しの際は、専用ニッケル水素電池のコードを引っ張らないでください。



## △ 注意



本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用ニッケル水素電池以外は使用できません。専用ニッケル水素電池の購入は、弊社製品取扱店にてご注文ください。

## お願い

本機は、リサイクル可能な電池(ニッケル水素電池)を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、端子部をテープなどで絶縁して(端子部の金属が露出していない場合は除く)最寄のリサイクル協力店へお持ちください。

- ・リサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRC のホームページ (<https://www.jbrc.com/>) をご参照ください。

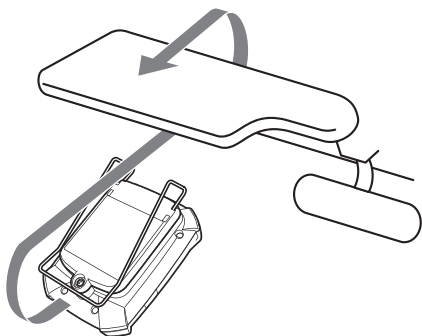


ニッケル水素電池はリサイクルへ

# サンバイザーに取り付ける

センサーユニットを、付属のサンバイザークリップでサンバイザーに取り付けてください。

付属のサンバイザークリップをセンサーユニットに取り付け、サンバイザーに挟み込む



## メモ

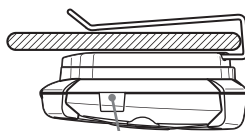
- 赤外線受光部がピラー等に隠れないように取り付けてください。  
リモコンでの警戒/解除操作は赤外線式のため、遮蔽物があると操作できません。

## ⚠ 注意



- 取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

➡ 進行方向



赤外線受光部

取り付けかた

# センサーユニットを充電する

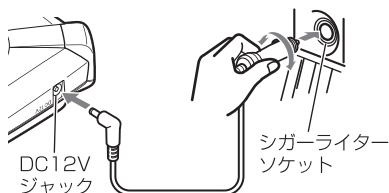
お買い上げ時、センサーユニットの専用ニッケル水素電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長期間お車をご使用にならなかった場合は、下記手順で充電を行ってください。

※12V車専用です。12V車以外では使用できません。

※急速充電時は、ケースの一部が温かくなることがありますが、故障ではありません。

## 1 付属のシガープラグコードを、DC12Vジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

差し込みにくい場合、シガープラグコードを、2〜3回左右にひねりながら差し込みます。



## 2 車のエンジンをかけて、充電する

本機は、シガープラグコードを接続しておくことで、車の走行中(エンジンキーがACCまたはON)に充電されます。

### 充電時間の目安

…専用ニッケル水素電池の状態に応じて急速充電、またはトリクル充電を行い、約2時間でフル充電されます。

1時間以上の充電で、本機をご使用になれますが、満充電にはなりません。

### ⚠注意



- ・シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ・シガープラグコード内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- ・交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

### メモ

- ・シガープラグコードの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は、別売OP-20をエンジンキーに連動してON/OFFする電源(アクセサリ電源)に接続して、ご利用ください。常時電源が供給されている状態では、警戒できません。

## リモコンの電源をONにする

お買い上げ時や、リモコンのボタン電池を交換後は、リモコンの電源はOFFになっています。ご使用前に、必ず電源をONにしてください。

### 電源ONの手順

インジケータランプが点灯(約0.5秒間)するまで、操作ボタンを押す(約5秒間)  
リモコンの電源がONになります。



### メモ

リモコンの電源がONになっていないと警戒/解除操作が行えません。

# 本機の機能を設定する

## 自動警戒モードについて

お買い上げ時 **ON**

※ 自動警戒モードはシガープラグコードを接続している場合のみご使用になれます。

本機はリモコン操作による警戒のほか、自動的に警戒する自動警戒モードを搭載しています。自動警戒モードをONに設定すると、以下の条件で警戒状態となります。

### エンジンキーをOFFにしてからドアを開める

ドア閉を検出するとセンサーユニットから『ピピピ・・・』の連続音が5秒間鳴った後、作動音『ビュ』(サイレントモードON時は無音)が鳴り、自動的に警戒を開始します。

### メモ

- ドア閉が検出できなかった場合や降車しなかった場合は、エンジンキーをOFFにすると、約1分後にセンサーユニットから『ピピピ・・・』の連続音が5秒間鳴った後、作動音『ビュ』(サイレントモードON時は無音)が鳴り、警戒を開始します。
- 警戒状態にたくない場合は、エンジンキー OFF後にリモコンを操作すると警戒状態になりません。(▶12ページ「リモコンを使って警戒(警報停止)する」)

## サイレントモードについて

お買い上げ時 **OFF**

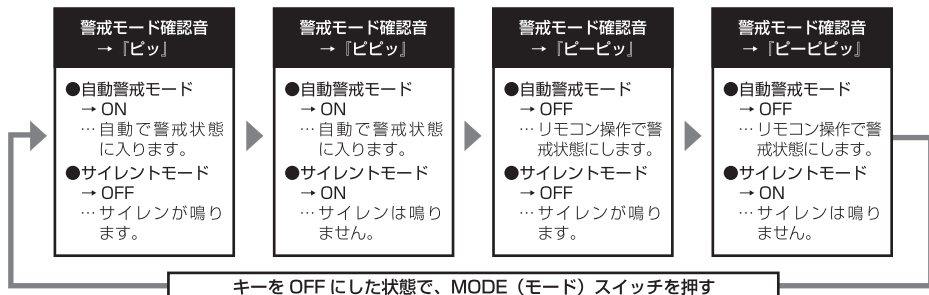
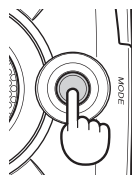
異常を検知した場合でもサイレンを鳴らさない警戒モードです。異常を検知した際は、スキャンニングLEDの点滅のみ動作します。

|              |            |
|--------------|------------|
| サイレントモード OFF | サイレンを鳴らす   |
| サイレントモード ON  | サイレンを鳴らさない |

## 警戒モードの変更手順 (自動警戒モード・サイレントモードのON/OFF)

エンジンキーをOFFにした後、センサーユニットのMODE(モード)スイッチを押して、モードを選びます。

- ※ お買い上げ時は、自動警戒モードON・サイレントモードOFFに設定されています。
- ※ 自動警戒モードONを設定しても、シガープラグコードを接続していないときは自動で警戒状態にはなりません。
- ※ 警戒モードは設定を変更しない限り、設定したモードで動作します。

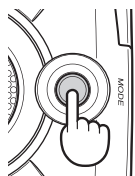


# 威嚇パターンを変更する

威嚇パターンを10パターンの中から選択できます。

## 威嚇パターン変更手順

**1** エンジンキーをOFFにし、警戒を解除した状態で、MODE(モード)スイッチを『ピーピーピッ』が鳴るまで押し続ける(約3秒間) 威嚇パターンの変更が行えます。



**2** リモコンの赤外線送信部を、センサーユニットの赤外線受光部に向けて、操作ボタンを押す

リモコンの操作ボタンを押すたびにセンサーユニットから『ピッ』音が鳴り、パターンが変わります。

パターン10の状態が続けてリモコンの操作ボタンを押すと『ピー』音が鳴り、パターン1に戻ります。

**3** 変更した威嚇パターンを決定するには、MODE(モード)スイッチを3秒以上押し続ける、またはエンジンキーをACCにする

1分間リモコンのボタン操作が行われなかった場合は、動作中の威嚇パターンで決定します。

MODEスイッチを3秒以上押すと、威嚇パターン変更モードが終了し、警戒モード確認音が鳴ります。(▶ 9ページ「警戒モードの変更手順」)

自動警戒モードがONの場合、威嚇パターン変更モード終了後、自動的に警戒を開始します。

### メモ

- セキュリティが作動中に、選択したパターンで定期的に点滅し、威嚇効果を発揮します。
- ※ 消費電流は、パターン1が最も少なく、パターン10が最も多くなります。
- ※ 連続で警戒可能な時間は、パターン1が最も長くなります。

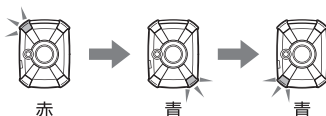
連続で警戒可能な時間の目安(満充電後の当社測定値)

|        |      |
|--------|------|
| パターン1  | 約7日間 |
| パターン10 | 約5日間 |

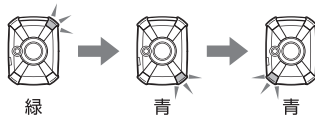
※ 連続警戒可能時間は、使用状況により変わります。あらかじめご了承ください。

## 威嚇パターン一覧

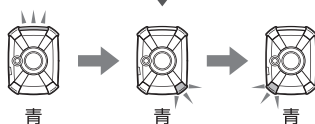
### パターン1



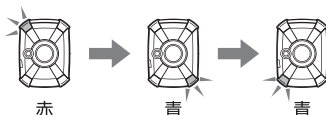
約4秒後



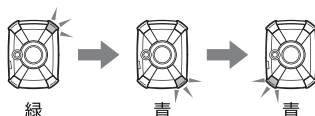
約4秒後



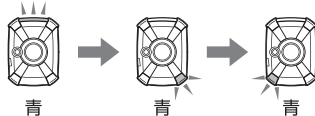
### パターン2



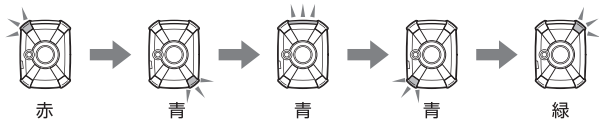
### パターン3



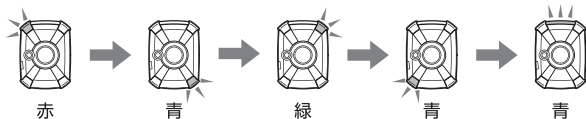
### パターン4



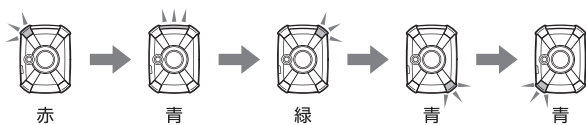
パターン5



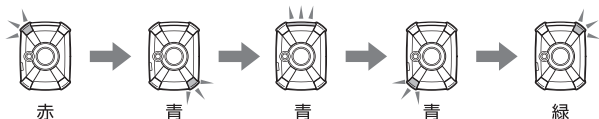
パターン6



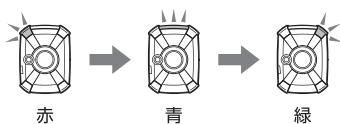
パターン7 ※1



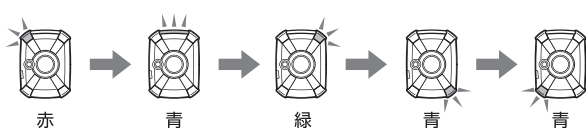
パターン8 ※1



パターン9 ※2



パターン10 ※1



メモ ・パターン7と同じ点滅動作を行います、点滅を行うタイミングが変わります。

※1 表示のパターンが2周連続して点滅します。

※2 表示のパターンが4周連続して点滅します。

# 警戒状態にする

## 自動警戒モードで警戒する

自動警戒モードをご使用になる場合は、あらかじめ、シガープラグコードを接続して、自動警戒モードをONに設定してください。(➡9ページ「警戒モードの変更手順」)

### 1 すべてのウィンドウを、完全に閉める

### 2 エンジン进行を切る

エンジンキーをOFFにすると警戒モード



確認音(➡9ページ「警戒モードの変更手順」)が鳴り、警戒可能な状態にあることをお知らせします。

※ センサーユニットの専用ニッケル水素電池容量が少ないときはセンサーユニットから「ブブ ブブ ブブ」が鳴り、警戒できません。(➡14ページ「ローバッテリー通知について」)

### 3 降車後、ドアを閉める

## ●リモコン操作または自動警戒モードにより警戒を開始すると・・・

#### センサーユニット

連続音「ビビビ…」が5秒間鳴った後、作動音「ピュ」(サイレントモードON時は無音)音が鳴り、警戒を開始します。スキャンングLEDが設定された威嚇パターンで動作します。(➡10ページ「威嚇パターンを変更する」)

## リモコンを使って警戒(警戒停止)する

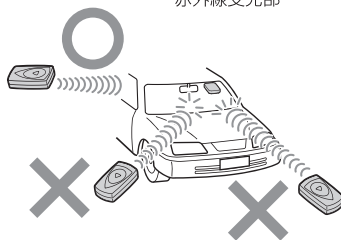
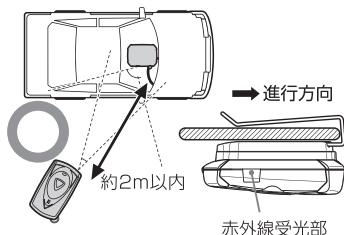
リモコン操作で警戒/解除の切替と警戒中の警報音を停止することができます。

リモコンの赤外線送信部を、センサーユニットの赤外線受光部に向けて、操作ボタンを押す

警戒中にリモコン操作を行うと警戒解除になり、警戒解除状態でリモコン操作を行うと警戒中になります。

### ●リモコンの操作範囲

- 赤外線受光部から約2m以内
- センサーユニットの受光部は概ね下図のように、運転席ドア付近からの信号を受信できます。



### 操作上のご注意

- リモコン操作範囲内で操作してください。
- リモコンの赤外線送信部をセンサーユニットの赤外線受光部に向けて操作してください。
- リモコンでの警戒/解除操作は赤外線のため、ビラーやボディカバーなどの遮蔽物があると操作できません。
- センサーユニットの赤外線受光部に直射日光が当たっていると操作できないことがあります。また、窓ガラスの汚れや、ウィンドウフィルム等で赤外線の透過率が低くなると、操作範囲が狭くなることがあります。

# 警戒中に異常を検知すると（警告・警報）

警戒中にドアが開いたときや、衝撃を検知したときには、次のような動作を行います。

|                                                                                                          | ウィンドウやボディに弱い<br>衝撃を受けたとき(警告) | ウィンドウやボディに強い<br>衝撃を受けたとき(警報) | ドアが開かれたとき(警報)                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <b>サイレン</b><br>※サイレントモードON時は鳴りません。                                                                       | 『ピュー』が1回鳴ります。                | 『ピューピューピュー』が2.5秒おきに1分間鳴ります。  | 『ピューピューピューピュー』が2.5秒おきに2分間鳴ります。<br>※最初の3回は短い警報が鳴ります。 |
| <b>スキャニングLEDの青色</b><br> | 1回点滅をします。                    | 3回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。       | 4回点滅を2.5秒おきに2分間繰り返します。                              |

## メモ

- ・警告・警報後は警戒状態に戻り、再度異常を検知すると警告・警報します。

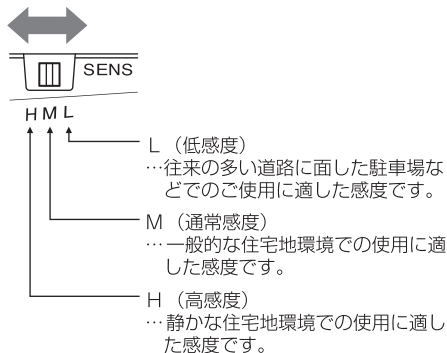
頻繁に衝撃による警告や警報が鳴ったり、反応が悪い場合は、衝撃感度を変更してご使用ください。

## 衝撃感度の切替

お買い上げ時 **M**

センサーユニット側面の感度設定スイッチで衝撃感度の設定ができます。

- ※ 駐車場周囲の環境や車に合わせて衝撃感度を選択してください。
- ※ 周囲の環境により頻繁に警報が鳴るような場合は、下記の内容をご確認ください。
  - ・ 感度を下げて確認してください。
  - ・ エアコンが外気導入になっている場合、内気循環にしてください。
- ※ 強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。（個別に設定することはできません）



# 警戒を解除する（警報停止）

警戒中にリモコン操作またはエンジンキーで警戒を解除できます。

※警報中は警報を停止して、警戒を解除します。

## リモコン操作による警戒解除（警報停止）

リモコンの赤外線送信部を、センサーユニットの赤外線受光部に向けて、操作ボタンを押す

※センサーユニットの赤外線受光部にリモコンの赤外線送信部を向けて操作してください。（☛12ページ「リモコンを使って警戒（警報停止）する」）

※リモコンの操作範囲内で操作してください。  
※リモコンでの警戒 / 解除操作は赤外線式のため、ピラーやボディカバーなどの遮蔽物があると操作できません。

## エンジンキーによる警戒解除（警報停止）

エンジンをかける（エンジンキーをACCまたはONにする）

※シガープラグコードを接続していないと警戒を解除できません。



### ●警戒を解除すると・・・

センサーユニットから作動音『ピュピュ』（サイレントモードON時は無音）が鳴り、スキャンニングLEDが3回点滅し、警戒が解除されます。

## ローバッテリー通知について

ローバッテリー通知があったときは、付属のシガープラグコードを使用して2時間以上充電してください。（☛8ページ「センサーユニットを充電する」）

### ●専用ニッケル水素電池の容量が低下している状態で警戒を開始しようとすると…

センサーユニットから『ブブ ブブ ブブ』と鳴り、警戒を開始できません。

### ●警戒中に専用ニッケル水素電池の容量が低下すると…

センサーユニットから『ブブ ブブ ブブ』と鳴ります。（警戒は継続します）



### ●さらに低下すると…

センサーユニットから『ブブブ ブブブ ブブブ』と鳴り、警戒を解除します。

# リモコンの電池交換

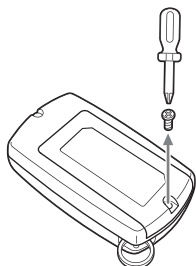
リモコン操作をしていないのに、リモコンのインジケータランプが点滅(4.5秒おきに1回点滅)したら、ボタン電池寿命です。早めに新しいボタン電池(CR2032×2個)と交換してください。

※ 付属(リモコンに装着済み)のボタン電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

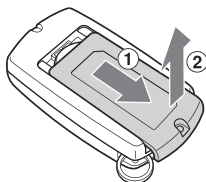
## 交換手順

### 1. リモコン裏面のネジを外す

※ ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。

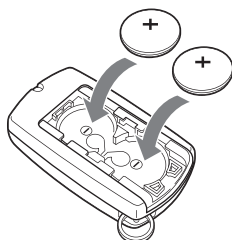


### 2. 電池カバーを矢印方向にスライドさせ、持ち上げる



### 3. 古いボタン電池を取り出す

### 4. ボタン電池の向きを確認してセットする



### 5. 電池カバーを取り付け、ネジを締める

### 6. 操作ボタンを5秒以上押しリモコンの電源をONにする (➡ 8ページ「リモコンの電源をONにする」)

## ボタン電池寿命の目安

1日に8回のボタン操作で約1年使用できます。  
(当社測定値)

## ⚠ 注意



- ボタン電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定のボタン電池(CR2032)以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず2つとも新しいボタン電池と取り替えてください。また、交換時にはボタン電池の向きを間違えないようご注意ください。

## ⚠ 警告



使用済みのボタン電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のためリモコンのボタン電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

# こんなときは？

故障かな？と思われた場合や困ったときは、下記をご参照ください。それでも解決できない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

| こんなときは                                    | 処 置                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| センサーユニットから『ブブ ブブ ブブ』が鳴る                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーユニットの専用ニッケル水素電池容量が低下しています。シガープラグコードを使って2時間以上充電を行ってください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                    |
| 充電できない                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーユニット専用ニッケル水素電池のコネクタが、しっかり奥までささっているかを確認してください。</li> <li>・専用ニッケル水素電池が消耗してローバッテリー通知があったときは、必ずシガープラグコードを使って2時間以上充電をしてください。</li> <li>・シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。</li> </ul>                                  |
| 警戒を開始できない                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンキーがOFFの位置になっていますか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                         |
| 警告・警報しない                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイレントモードがONに設定されていませんか。(➡ 9ページ「警戒モードの変更手順」)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                    |
| リモコンで操作できない                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの電源がONになっていますか。(➡ 8ページ「リモコンの電源をONする」)</li> <li>・リモコンの電池容量が低下していませんか。(インジケータランプが点滅していませんか)(➡ 15ページ「リモコンの電池交換」)</li> <li>・リモコンの赤外線送信部を手で塞いでいませんか。</li> <li>・赤外線受光部とリモコンがビラーなどで遮られていませんか。センサーユニットとリモコンが離れていませんか。操作できる範囲は約2m以内です。(➡ 12ページ「リモコンを使って警戒(警報停止)する」)</li> </ul> |
| リモコンのインジケータランプが点滅している                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの電池容量が低下しています。電池を交換してください。(➡ 15ページ「リモコンの電池交換」)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |
| 自動警戒モード設定中にガソリンの給油や荷物の積み下ろしなど、警戒状態になっては困る | <p>エンジンキーをOFFにしてから、次のいずれかの操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの操作ボタンを1回押してください。自動警戒モードを一時的にOFFにできます。(センサーユニットの赤外線受光部にリモコンの赤外線送信部を向けて操作します)</li> <li>・センサーユニットのMODE(モード)スイッチを押して、自動警戒モードをOFFにしてください。(['ピーピッ'、['ピーピピッ']を選択する)(➡ 9ページ「警戒モードの変更手順」)</li> </ul>                                |
| エンジンスターターと併用する場合は                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・付属のシガープラグコードを接続し自動警戒モードをONにしてご使用ください。警戒中にエンジンがかかると(ACCがONになると)警戒を解除し、アイドリングが終了すると約1分後に警戒状態になります。</li> </ul>                                                                                                                                                               |

## 【センサーユニット】

- 電源電圧 DC12V(入力電圧)
- 使用電池 DC3.6V(専用ニッケル水素電池)
- 消費電流 充電中… 急速充電：約270mA(最大)  
トリクル充電：約70mA  
警戒中… 約2.5mA  
警報中… 約500mA
- 警報音圧 90dB/m(サイレン)
- 動作温度範囲  $-20^{\circ}\text{C} \sim +85^{\circ}\text{C}$
- 本体外形寸法 66(W)×33(H)×90(D)mm(突起部含まず)
- 本体重量 101g(電池含む)

## 【リモコン】

- 使用電池 ボタン電池CR2032(2個)
- 電池寿命 約1年(1日8回操作)
- 送信方式 赤外線式
- 動作温度範囲  $-10^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$
- 外形寸法 34(W)×60.5(H)×17(D)mm(突起部含まず)
- リモコン重量 24g(電池含む)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

# アフターサービスについて

## 1. 保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

## 2. 保証期間

お買い上げの日から1年間

## 3. 対象部分

機器本体(電池等消耗部品を除く)

## 4. 修理をご依頼されるとき

「こんなときは？」(●16ページ)を良くお読みください。

それでも症状の改善がないときは、状況をなるべく詳しくご連絡ください。

## ●保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器一式をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

## ●保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## 5. アフターサービス等についてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

※修理中の代替機等の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

## お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

### <無料修理規定>

1. 記載の保証期間内に、本書に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
  - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
  - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
  - (ヘ) 本書のご提示がない場合
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

#### 故障内容記入欄(症状をなるべく詳しくご記入ください。)

- ※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理について詳しくはアフターサービスについてをご覧ください。